

医療情報標準化指針提案申請書

● 新規 ○ 更新 ○ 修正 ○ 廃止

申請受付番号		事務局受付日	年 月 日	申請日	2025 年 5 月 # 日
提案申請団体名 責任者氏名	一般社団法人日本IHE協会 ・代表理事 安藤 裕		規格作成団体名 責任者氏名	一般社団法人日本IHE協会 ・代表理事 安藤 裕	
提案規格名	和名	用語とコード共有のための技術仕様 (SVS,SVCM)			
	英名	Value Set Sharing (SVS,SVCM) Technical Specifications			
提案規格の目的、概要(提案規格策定経緯及び決定プロセス)	和名	目的: 医療情報の用語(ターミノロジー)に関する相互運用性確保と標準化推進を目的とする。 概要: 医療情報システム間での「値セット」(Value Set)、「コードシステム」(Code System)、「コンセプトマップ」(Concept Map)といった標準化された用語資源の共有と管理に関する技術仕様を定めたものである。 IHE SVSは、HL7 Version3.0準拠、IHE SVCMはHL7 FHIR準拠の2つの形式について記載をしている。この仕様を活用することで、セマンティックな相互運用性の実現に不可欠な共通語彙基盤を確立し、手動設定の負担を軽減できる。 本提案はIHE International, Inc が作成した仕様を、日本IHE協会のIT委員会、運営委員会にて討議し作成され、日本IHE協会会員にパブリックコメントをもとめ、必要に応じてコメント内容を反映して確定された。			
	英名	Purpose: To ensure interoperability and promote standardization related to healthcare terminology. Overview: This document defines the technical specifications for the sharing and management of standardized terminology resources, such as "Value Sets," "Code Systems," and "Concept Maps," among healthcare information systems. It describes two specifications: IHE SVS, which is compliant with HL7 Version 3.0, and IHE SVCM, which is compliant with HL7 FHIR. Utilizing these specifications helps establish a common vocabulary foundation essential for achieving semantic interoperability and reduces the burden of manual configuration. This proposal was created through discussions at the ITI Committee and Strategy Committee of the IHE-Japan based on the specifications created by IHE International,			
提案規格の申請理由、適用領域、使用方法					
申請理由: 医薬品、検査項目等のマスタの標準化は整備されつつあるが、医療機関等の施設にて利用するための共通な仕組みで行われることは少ない。多くの施設やシステムで今回のマスタ類の配布方法について標準仕様を策定することで仕様調整、開発工数等大幅な削減が見込まれる。					
適用領域: 医療機関や薬局、介護施設、自治体、PHR、研究施設等、多くの分野に適用できる。 施設内のシステム間連携、データ収集事業時の入力項目の定義、FHIRにおける実装ガイドにおける取り決め、IHE IPS等の国をまたがったシステム間連携など、多くの領域においての利用が想定される。					
使用方法: Terminology Repositoryは「値セット」、「コードシステム」、「コンセプトマップ」等の情報を集約管理し、Termonoligy Consumerは必要に応じて検索・取得することでコミュニティ全体で用語の統一を図ることができる。					
Trial Implementation Versionでの申請に至った理由: 日本IHE協会では、以下の条件を満たした場合、HELICS指針申請をすることが可能としている。 これは、日本IHE協会 運営会議での議論を経て決定した事項である。 1) HL7 FHIR規格を用いた統合プロファイルであること 2) Open Issueが解消されていること 3) 各国や各地域で開催されているコネクタソンにおいて、接続試験が実施され、実装済みシステムの存在が確認されていること SVCMについては、これら条件を満たしている。					
関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方)					

・HL7 ver3.0:IHE SVCのメッセージに利用
 ・HL7 FHIR R4.0.1:IHE SVCMのメッセージおよび通信方式等を規定
 ・IHE ATNA:Secure NodeやSecure Applicationの利用、認証済みノードへの制限などがリスク低減策として利用が想定される。

提案規格の 関連情報	メンテナンスの方法(バージョン管理も含む) 日本IHE協会 ITI委員会			
	入手資格 制限無し			
	入手方法 日本IHE協会ホームページより入手可能 公開文書: https://www.ihe-j.org/file2/docs/IHE-J-A-0009_SVS-SVCM_R1.1.pdf			
	価格等 無償			
	知的所有権(特許権・実用新案権などの工業所有権と著作権とは分けて記述すること) 著作権は、日本IHE協会およびIHE International Incが所有している。ただし、無償使用可			
	添付資料 SVS: https://profiles.ihe.net/ITI/TF/Volume1/ch-21.html SVCM: https://profiles.ihe.net/ITI/SVCM/index.html			
実務運用上の連絡先	氏名	TEL	FAX	E-mail
	鵜澤昇二	03-5840-9878	03-5840-9879	uzawa@ihe-j.org
特記事項	特になし。			

※更新・修正・廃止の時は、以下の一項を選択し、旧規格名(和名)を記載する。

指針の更新・改廃 の場合の旧規格 との関係	☐ 旧規格()を新規格に更新する。
	☐ 旧規格()と新規格が修正で指針となる。
	☐ 旧規格()を廃止する。
更新時の新旧の 相違点	※バックワードコンパティビリティについても記入してください。

※記入に当たっては「医療情報標準化指針提案申請書の記載方法について」を参照下さい。

※申請した指針は、毎年5月末までに見直しをお願いします。

事務局から問い合わせが行きますので、必要に応じて更新などの手続きをお願いします。

※旧指針を廃止し新たな指針を提案する場合には、廃止と新規と2通の提案を行ってください。

一般社団法人医療情報標準化推進協議会 標準化委員会
 (2024.04.22 改版)